

Galaxy VS/VL/VXL、Easy UPS 3-Phase Modular、およびEasy UPS 3M Advanced

バッテリーブレーカーキット (GVBBK630EL)

設置マニュアル

最新情報は、Schneider ElectricのWebサイトをご確認ください
2024年8月



法律情報

本書に記載されている情報は、製品/ソリューションに関する一般的な説明、技術的特性、および推奨事項を含んでいます。

本書は、詳細な調査や運用/現場別の開発計画や概略図の代用となるものではありません。また、特定ユーザーの用途に対する製品/ソリューションの適合性または信頼性を判断するために使用すべきものではありません。関連する特定の用途または使用に関して製品/ソリューションの適切かつ包括的なリスク分析、評価、および試験を行うこと、または選択した専門家（インテグレーター、設計者等）に実施させることは、当該ユーザーの義務とします。

本書で言及されているシュナイダーエレクトリックブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。

本書およびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし提供されています。本書のいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、再製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」文書を調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なく変更または更新する権利を有します。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本書の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本書に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

目次

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてく ださい.....	5
安全性に関する注意	6
電気的安全性	8
バッテリーの安全性.....	9
仕様.....	10
バッテリーブレーカー仕様.....	10
トリップ設定.....	11
推奨ケーブルサイズ	12
トルク仕様	12
環境.....	12
バッテリーブレーカーキットの出荷時の重量と寸法.....	12
バッテリーブレーカーキットの重量と寸法	12
適合規格.....	13
設置手順.....	14
接地された金属製ボックス内でのバッテリーブレーカーキットの設置	15
バッテリーブレーカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (下部入 線)	16
バッテリーブレーカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (上部入 線)	17
信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続	18
信号線のGalaxy VL UPSへの接続.....	22
信号線のGalaxy VXL UPSへの接続.....	26
信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続	32
信号線のEasy UPS 3M Advancedへの接続.....	36
下部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続	40
上部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続	43

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置についてよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、指示に従わないと人体への危害を引き起こす電氣的な危険性があることを示しています。



これは、安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警告する目的で使用されます。人体への危害や死亡の危険性を避けるため、この記号が付いているすべての安全性メッセージに従ってください。

⚠ 危険

「危険」は、指示に従わなかった場合に、**死亡や重傷を引き起こす危険な状況**を示します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 警告

「警告」は、指示に従わなかった場合に、**死亡や重傷を引き起こす可能性がある危険な状況**を示します。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

「注意」は、指示に従わなかった場合に、**軽傷を負う可能性がある危険な状況**を示します。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

注記

「注記」は、人体への危害には関連しない操作に関する注記です。安全警報の記号は、このタイプの安全性メッセージには使用されません。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

ご注意ください

電気機器の設置、操作、修理、保守は、必ず有資格者が行ってください。この資料の使用に起因するいかなる結果についても、Schneider Electricが責任を負うことはありません。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた担当者のことを指します。

IEC 62040-1:「Uninterruptible power systems (UPS) -- Part 1: Safety Requirements」に記載されているように、バッテリーが搭載されているこの機器の点検、設置、保守は、適切な技術者が行う必要があります。

適切な技術者とは、リスクを察知し、機器で発生する可能性のある危険を回避できる、適切な教育と経験を有する技術者のことを指します (IEC 62040-1、3.102項)。

安全性に関する注意

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルの指示をすべて読んでから、この製品の設置や作業を開始してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、この製品を設置しないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、Schneider Electric社の仕様と要件に従って設置する必要があります。特に、外部および内部の保護 (上流ブレーカー、バッテリーブレーカー、ケーブル配線など) と環境要件は重要です。これらの要件に従わなかった場合、Schneider Electric社は責任を負わないものとします。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは地方自治体および国家における規則に従って設置される必要があります。UPSシステムは、以下の規格に従って設置してください。

- IEC 60364 (60364-4-41 - 感電に対する保護、60364-4-42 - 熱効果に対する保護、60364-4-43 - 過電流に対する保護を含む)、または
- NEC NFPA 70、または
- カナダの電気規則 (C22.1、パート1)

使用地域で適用される規格に従ってください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- この製品は、導電性汚染物質や湿気のない、温度管理された屋内環境に設置してください。
- この製品は、システムの重量を支えられる、不燃性の平坦で硬い床面 (例、コンクリート面) に設置する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、設計上、次のような影響物が存在する動作環境に設置することはできません。

- 有害な煙
- 爆発の危険があるガス、粉体混合物、腐食性ガス、他の熱源からの伝導熱や輻射熱
- 水分、磨耗性塵埃、蒸気、または過度な湿度
- 菌類、昆虫類、有害生物
- 塩分を含んだ空気または汚染された冷却材
- IEC 60664-1が規定するレベル2を超える汚染物
- 異常振動、衝撃、傾斜
- 直射日光、熱源、強力な電磁場

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線口カバーに、ドリルまたは切削によりケーブルや電線管用の穴を開けないでください。また、このUPSシステムの近くで穴開けまたは切断作業を行わないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルで指示されていない限り、この製品に機械的変更（キャビネット部品の取り外し、ドリルや切削による穴開けなど）を加えないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記

過熱の危険

この製品周囲のスペースの要件を順守し、製品の動作中に製品の換気口をふさがないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

電氣的安全性

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 電気機器の据え付け、運転、点検、保守は、必ず有資格者が実施する必要があります。
- 適切な個人保護具(PPE)を使用し、安全な電気作業方法に従って作業してください。
- このUPSシステムに対する作業は、内部、外部の別を問わず、このUPS装置のあらゆる電源をオフにしてから実施してください。
- このUPSシステムの作業を始める前に、保護接地も含め、あらゆる端子間で危険な電圧がかかっていないことを確認してください。
- UPSには、蓄電池が内蔵されています。商用電源 / 主電源から切り離されている状態でも、電圧がかかっている場合があります。このUPSシステムの設置や点検を行う前に、必ず装置電源をオフにし、商用電源 / 主電源とバッテリーの接続を解除してください。このUPS装置内部を開く場合は、コンデンサーの放電が終わるまで5分程度待ってから開いてください。
- 各地域の規制に従って上流電源からシステムを絶縁するため、断路装置（断路ブレーカーやスイッチ）を取り付ける必要があります。この断路装置は、作業しやすく見やすい場所に設置してください。
- UPSは適切にアース処理 / 接地されていなければなりません。また、高い漏れ電流のため、アース処理 / 接地導体を最初に接続する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バックフィード保護が標準設計となっていないシステムの場合、絶縁装置の入力端子での危険電圧やエネルギーを防ぐために、自動絶縁装置（バックフィード保護オプション、もしくはIEC/EN 62040-1またはUL 1778 4th Editionの2つの規格のうち使用地域で適用されるいずれかの規格要件を満たしている他の装置）を設置する必要があります。上流電源の停電後15秒以内に装置を開放する必要があり、仕様に従った定格である必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

UPSの入力電源が外部断路装置を通じて接続されているときで、開放により中性線断となる場合、もしくは自動のバックフィード防止装置が機器外部に設置されているときもしくはIT配電システムに接続されているときは、UPS入力端子およびUPSから離隔しているすべての一次電源断路装置およびそれら断路装置とUPS間の外部アクセスポイントに、次のテキスト（またはUPSシステムが設置されている国の言語で同等に記載されたテキスト）を表示するラベルをユーザーが貼り付ける必要があります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

電圧バックフィードの恐れがあります。この回路で作業する前にUPSを絶縁し、保護接地を含むすべての端子間の危険電圧を確認してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

バッテリーの安全性

⚡⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- バッテリーサーキットブレーカーは、Schneider Electric社が定義した仕様と要件に従って設置する必要があります。
- バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外には行わないでください。資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてください。
- バッテリー端子を接続したり取り外したりする前に、充電源の接続を解除してください。
- 爆発の危険があるため、バッテリーを焼却処分しないでください。
- 不良なバッテリーは温度が高くなるため、表面に触れると火傷する可能性があります。
- バッテリーを解体または改造したり、本来とは異なる方法で使用したりしないでください。漏れ出した電解液は肌や目に害を与えるため、注意してください。毒性を持っている場合もあります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚡⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの大危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると、感電やショートが発生する可能性があります。適切な技術者が設置や保守を行う間、接地を外しておくことで感電の大危険性を減らすことができます (接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します) 。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚡⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリー交換時は、必ず同タイプかつ同数のバッテリーまたはバッテリーパックを使用してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 注意

機器損傷の危険

- UPSシステムにバッテリーを取り付けますが、UPSシステムの電源を入れる準備ができるまで、バッテリーを接続しないでください。バッテリー接続から72時間 (3日間) 以上経過する前に、UPSシステムの電源を入れる必要があります。
- 充電要件により、バッテリーの保管期間は6か月以内とする必要があります。このUPSシステムを長期間通電せずに保管する場合、1か月に1度以上の頻度で24時間通電することをお勧めします。この措置でバッテリーが充電され、修理不能な損傷を防ぐことができます。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

仕様

注記

機器損傷の危険性

UPSシステムの仕様の詳細については、UPS設置マニュアルを参照してください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

バッテリーブレーカー仕様

⚠⚠ 危険

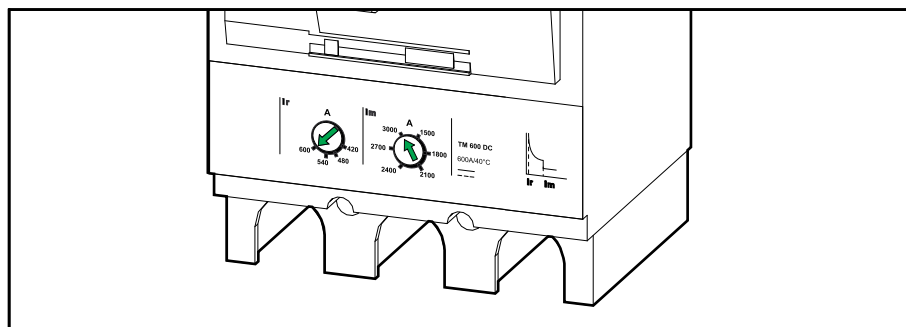
感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

本製品はGalaxy VS UPS、Galaxy VL UPS、Galaxy VXL UPS、Easy UPS 3-Phase Modular、またはEasy UPS 3M Advancedとともに使用する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

バッテリーブレーカー	C63S3TM600D
バッテリータイプ	VRLA、鉛、リチウムイオン
最大バッテリー短絡遮断容量 (kA)	35
サーキットブレーカーをトリップする最小短絡遮断容量 (A)	1600

トリップ設定



UPS定格	最大バッテリーバックアップ時間 (分)	バッテリーブロック	バッテリーストリング合計数	バッテリーブレーカー1	
				バッテリーストリング	Ir / Im設定
50 kW	任意	40 ~ 48	4	1 ~ 4	420/1500
100 kW	任意	40 ~ 48	4	1 ~ 4	420/1500
150 kW	任意	40 ~ 48	4	1 ~ 4	420/1500
200 kW	任意	40 ~ 48	4	1 ~ 4	480/1500
250 kW	<30	40 ~ 48	4	1 ~ 4	600/1500
300 kW	<30	44 ~ 48	4	1 ~ 4	600/1800

UPS定格	最小構成			最大構成			バッテリーブロック
	バッテリーブレーカーボックスの最小数	最大バッテリーバックアップ時間 (分)	ブレーカー設定	バッテリーブレーカーボックスの最大数	最大バッテリーバックアップ時間 (分)	ブレーカー設定	
500 kW	3xGVBBK630-EL	任意	480	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
600 kW	3xGVBBK630-EL	30未満	600	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
625 kW	3xGVBBK630-EL	30未満	600	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
750 kW	4xGVBBK630-EL	60未満	540	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
875 kW	4xGVBBK630-EL	30未満	600	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
1000 kW	7xGVBBK630-EL	任意	420	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
1125 kW	8xGVBBK630-EL	任意	420	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48
1250 kW	8xGVBBK630-EL	任意	420	8xGVBBK630-EL	任意	420	40 ~ 48

推奨ケーブルサイズ

⚠⚠ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。最大許容ケーブルサイズは120 mm²です。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

推奨ケーブルサイズについては、UPS設置マニュアルを参照してください。

トルク仕様

ボルトサイズ	トルク
M4	1.7 Nm
M5	2.2 Nm
M6	5 Nm
M8	17.5 Nm
M10	30 Nm
M12	50 Nm

環境

	運転時	保管時
温度	0 °C ~ 40 °C	-25 °C ~ 55 °C
相対湿度	0 ~ 95%、結露なきこと	0 ~ 95%、結露なきこと
塗装色	RAL 9003、光沢度85%	
保護クラス	IP20	

バッテリーブレーカーキットの出荷時の重量と寸法

商用参照名	重量kg	高さmm ¹	幅mm	奥行きmm
GVBBK630EL	15	560	500	800

バッテリーブレーカーキットの重量と寸法

商用参照名	重量kg	高さmm	幅mm	奥行きmm
GVBBK630EL	12	520	290	240

1. 製品は水平方向に梱包されているため、出荷時の高さと奥行きの寸法が製品本体とは異なっています。

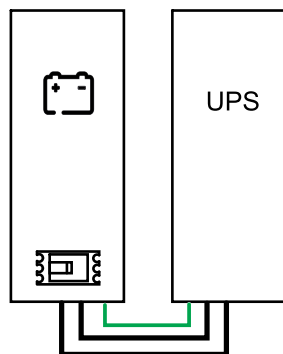
適合規格

安全性	IEC 62040-1:2017, Edition 2.0, Uninterruptible power systems (UPS) – Part 1: Safety requirements (第2版 : 無停電電源装置 (UPS) 第1部 : 安全要求事項) IEC 62040-1: 2008-6, 1st edition, Uninterruptible Power Systems (UPS) – Part 1: General and safety requirements for UPS (初版 : 無停電電源装置 (UPS) 第1部 : UPSの一般要求事項および安全要求事項) IEC 62040-1:2013-01, 1st edition amendment 1 (初版の改定1)
マーキング	CE、RCM、EAC、WEEE
輸送	IEC TR 60721-4-2、2M2
耐震	ICC-ES AC156、レベル1
汚染度	2
過電圧カテゴリ	III

設置手順

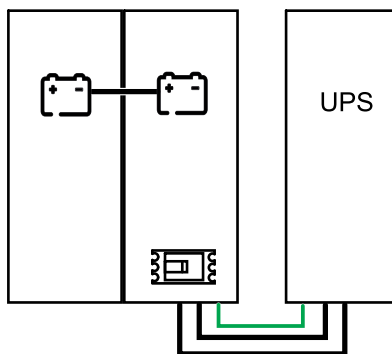
注記： このマニュアルに記載されている図は、空のバッテリーキャビネットを使用した設置方法を示しています。バッテリーブレーカーキットは、接地された金属製のボックス内に取り付けることもできます。

1つの空のバッテリーキャビネットとUPS



— 信号線
— 電源ケーブル

2つの空のバッテリーキャビネットとUPS



注記： バッテリーバンクとUPS間の距離は200 m以内でなければなりません。これ以上離れた距離に設置する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

1. バッテリーブレーカーキットを取り付けます。以下のいずれかの手順を実行してください。
 - 接地された金属製ボックス内でのバッテリーブレーカーキットの設置, 15 ページ、または
 - バッテリーブレーカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (下部入線), 16 ページ、または
 - バッテリーブレーカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (上部入線), 17 ページ。
2. 信号線を接続します。以下のいずれかの手順を実行してください。
 - 信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続, 18 ページ、または
 - 信号線のGalaxy VL UPSへの接続, 22 ページ、または
 - 信号線のGalaxy VXL UPSへの接続, 26 ページ、または
 - 信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続, 32 ページ、または
 - 信号線のEasy UPS 3M Advancedへの接続, 36 ページ。
3. 電源ケーブルを接続します。以下のいずれかの手順を実行してください。
 - 下部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続, 40 ページ、または
 - 上部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続, 43 ページ。

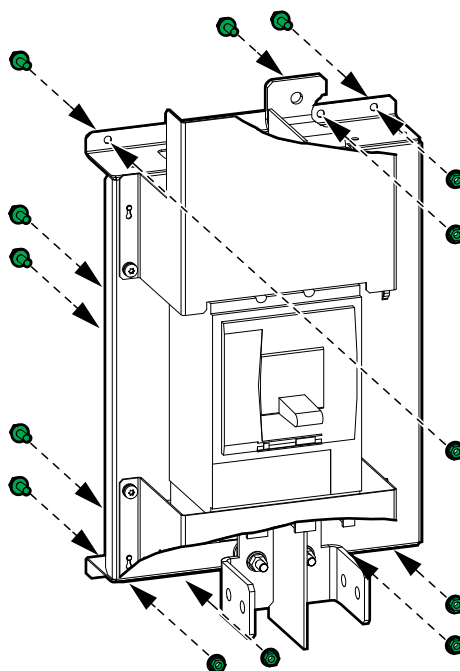
接地された金属製ボックス内でのバッテリーブレーカーキットの設置

▲ 注意

機器損傷の危険性

接地された金属製のボックス内にバッテリーブレーカーを取り付けます。

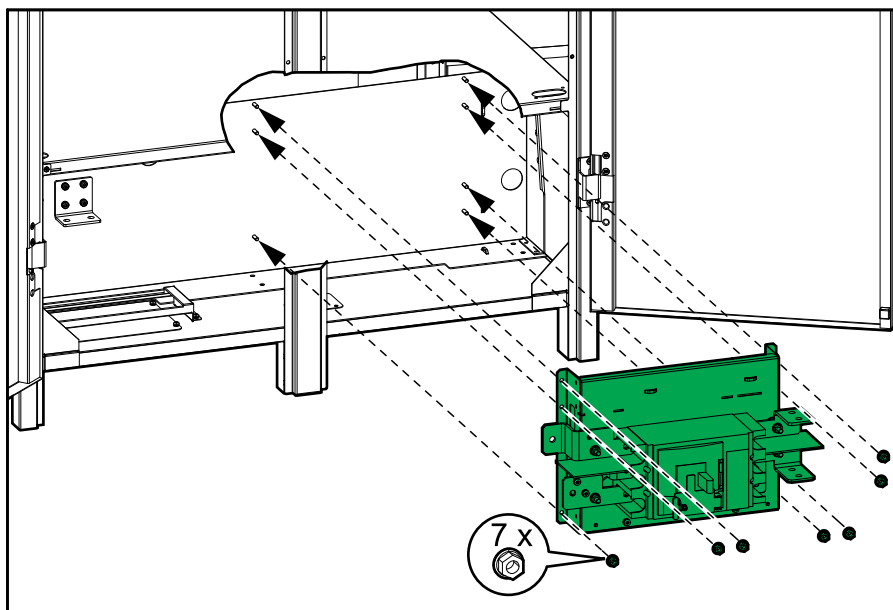
上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。



1. 金属製のボックス内にバッテリーブレーカーキットを設置するための穴の位置を測定して印を付けます。
2. 印を付けた場所にドリルで穴を開けます。
3. 金属製のボックス内にバッテリーブレーカーキットを取り付けます。

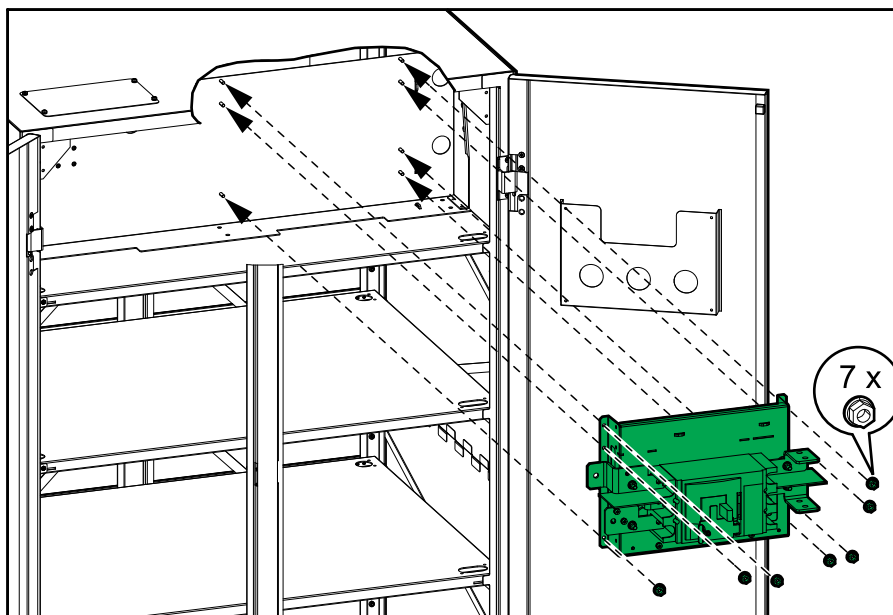
バッテリーブレイカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (下部入線)

1. バッテリーブレイカーキットを、空のバッテリーキャビネットの下部に取り付けます。



バッテリーブレーカーの空のバッテリーキャビネットへの設置 (上部入線)

1. バッテリーブレーカーキットを、空のバッテリーキャビネットの上部に取り付けます。



信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続

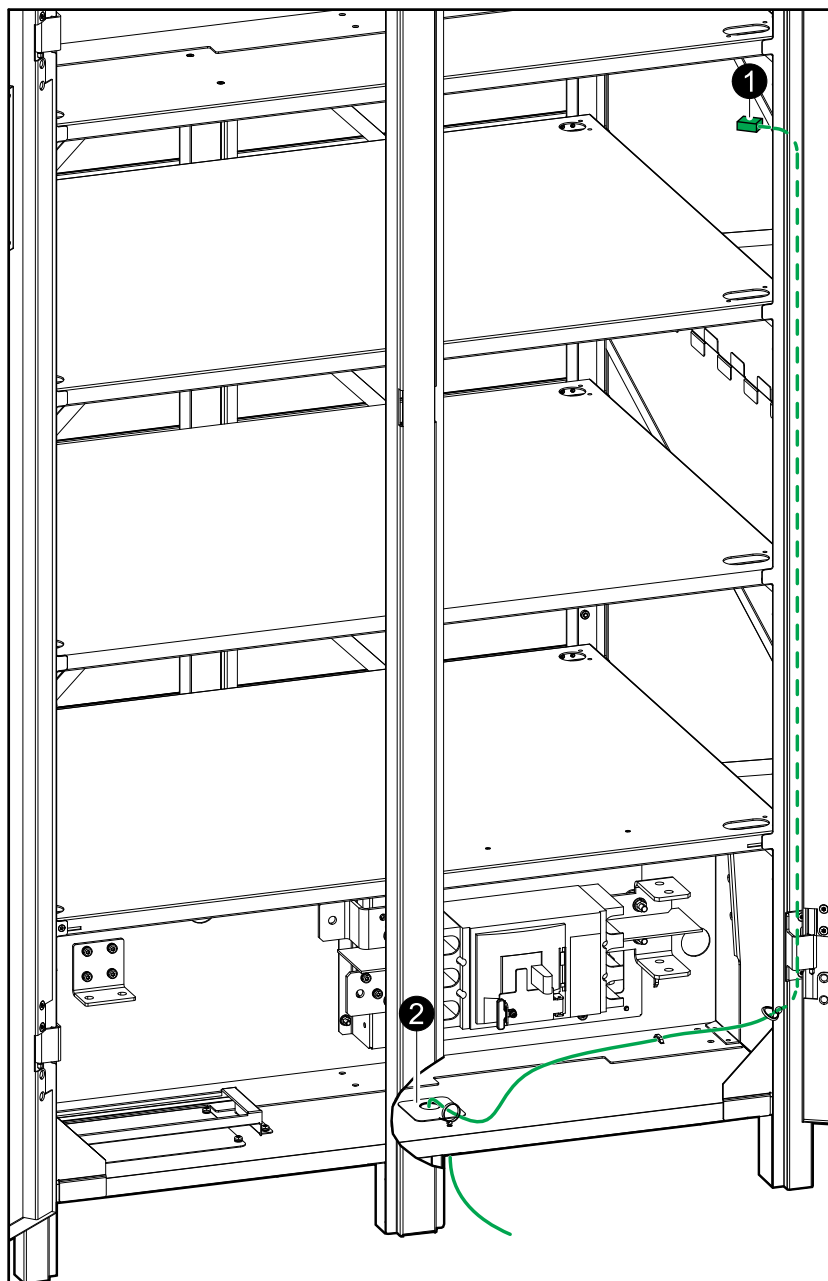
注記： 信号ケーブルは、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルは non-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

推奨される信号ケーブルサイズ	UPSまでの最大距離
0.5 mm ²	50 m
0.75 mm ²	100 m
1.0 mm ²	200 m

- UPSに付属しているバッテリー温度センサー0M-1160を取り付けます。

⚠ 警告
火災の危険 説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。 上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

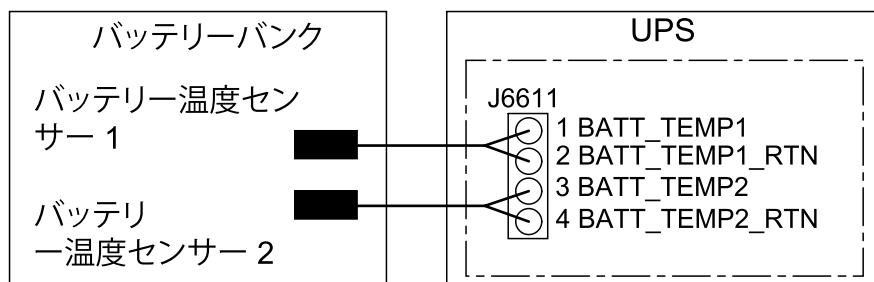
空のバッテリーキャビネットの前面図



2. バッテリー温度センサーのケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

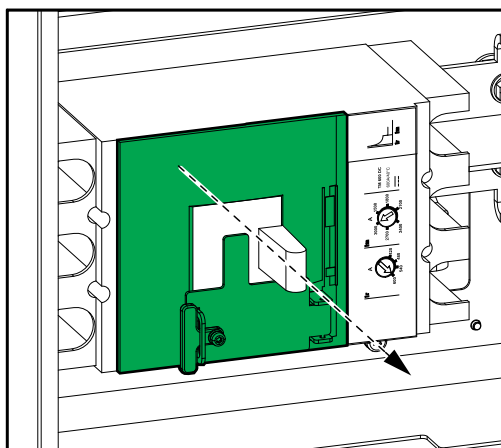
注記： UPSには、温度センサーが1つ同梱されています。追加の温度センサーを購入する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

注記： 温度センサーのケーブルは、Class 2/SELVとして認識されます。Class 2/SELV回路は、主回路から絶縁する必要があります。



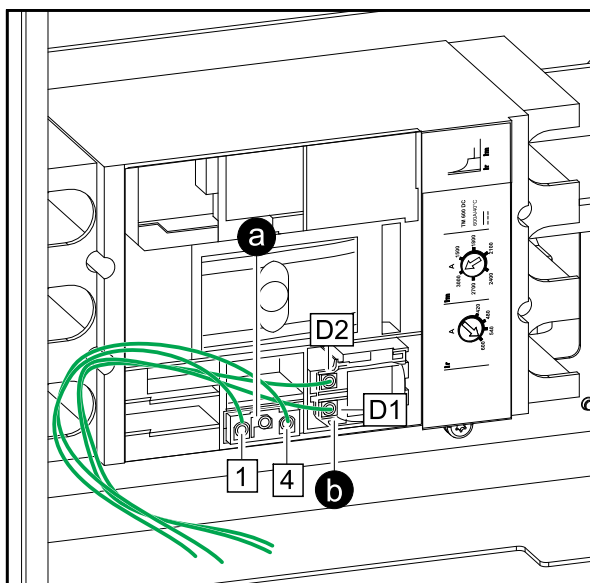
3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

バッテリーブレーカーの前面図

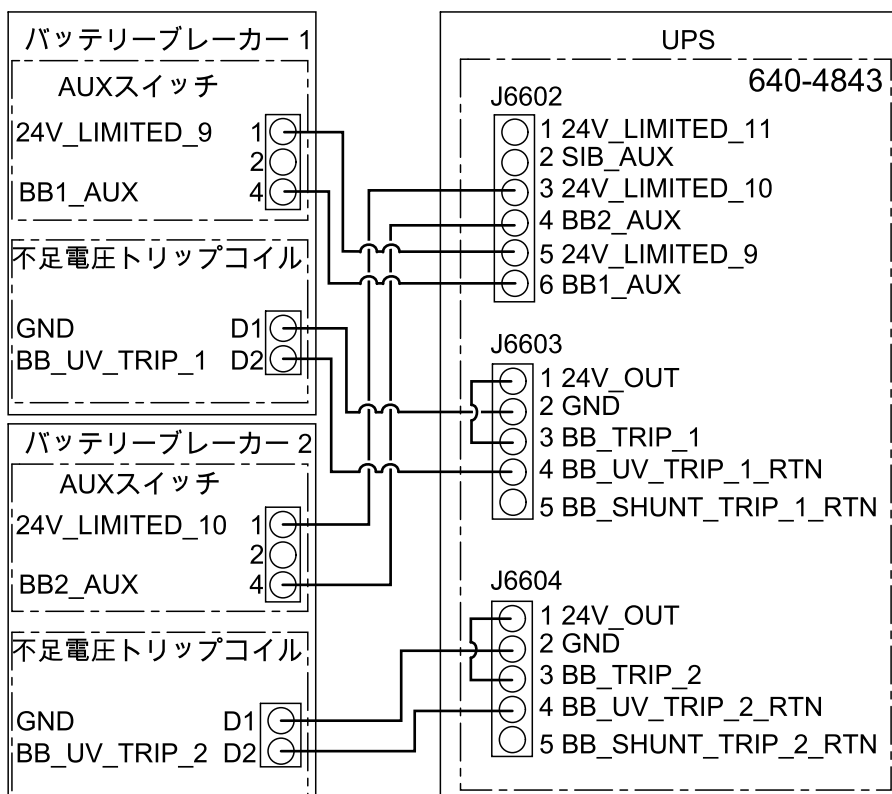


4. 信号ケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通して、バッテリーブレーカーに配線します。
5. 信号ケーブルを接続します。
 - a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
 - b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。

バッテリーブレーカーの前面図



6. UPSで信号ケーブルを以下のように接続します。



7. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。

信号線のGalaxy VL UPSへの接続

注記： 信号線は、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルはnon-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

推奨される信号線のサイズ	UPSまでの最大距離
0.5 mm ²	50 m
0.75 mm ²	100 m
1.0 mm ²	200 m

1. バッテリー温度センサー (0M-1160) をバッテリーキャビネットに取り付けます。2つの温度センサーはUPSに付属しています。

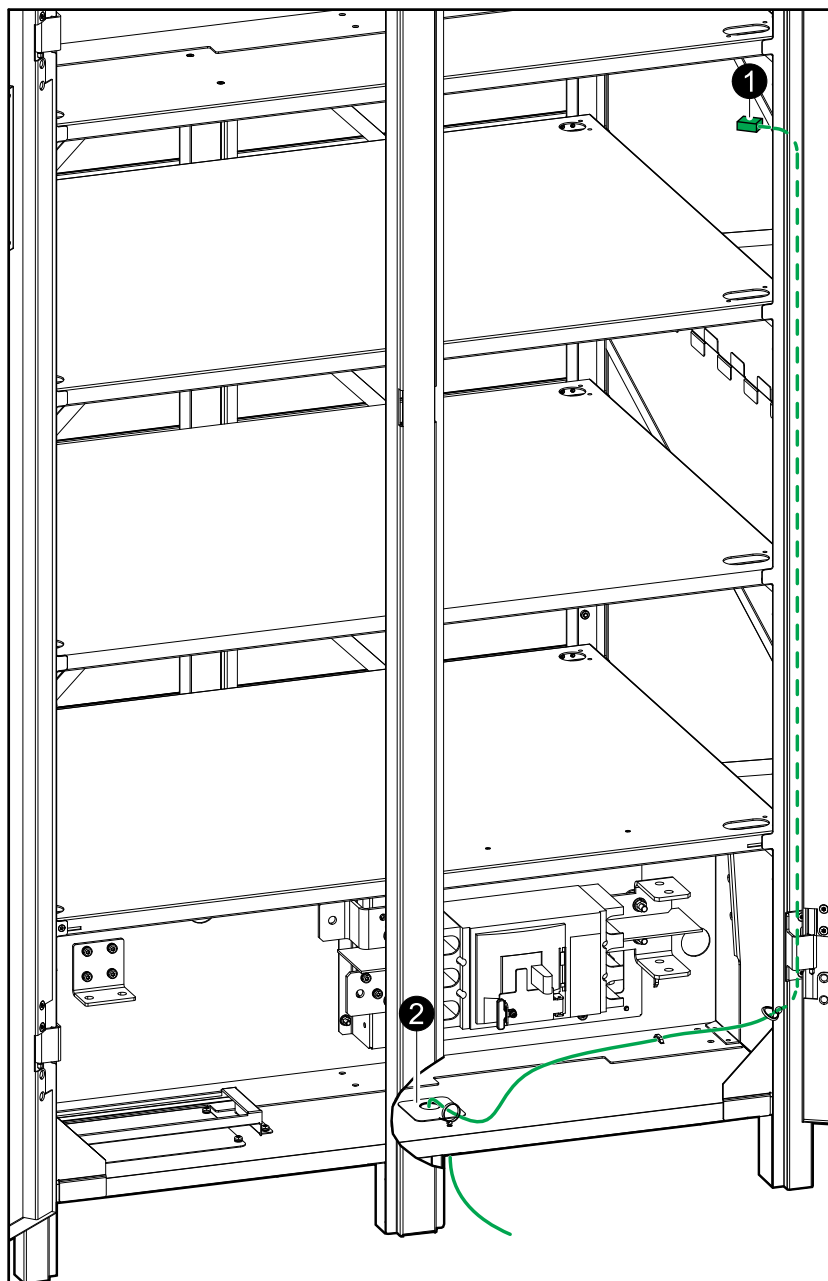
⚠ 警告

火災の危険性

バッテリーキャビネットに記載されている説明に従って、温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

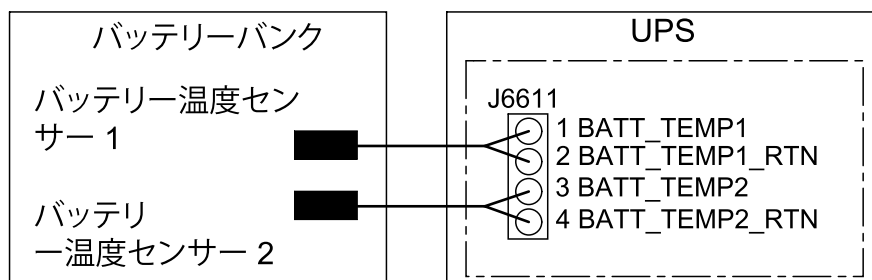
上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

空のバッテリーキャビネットの前面図



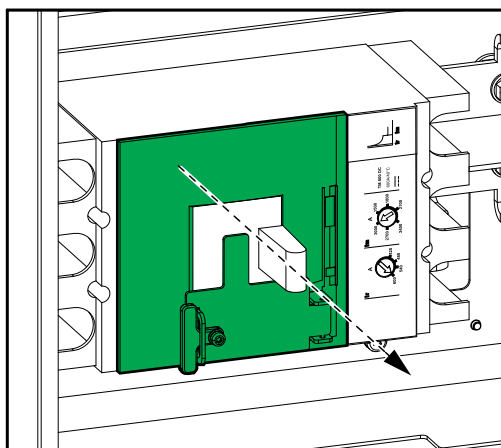
2. バッテリー温度センサーのケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記： 温度センサーのケーブルは、Class 2/SELVとして認識されます。Class 2/SELV回路は、主回路から絶縁する必要があります。



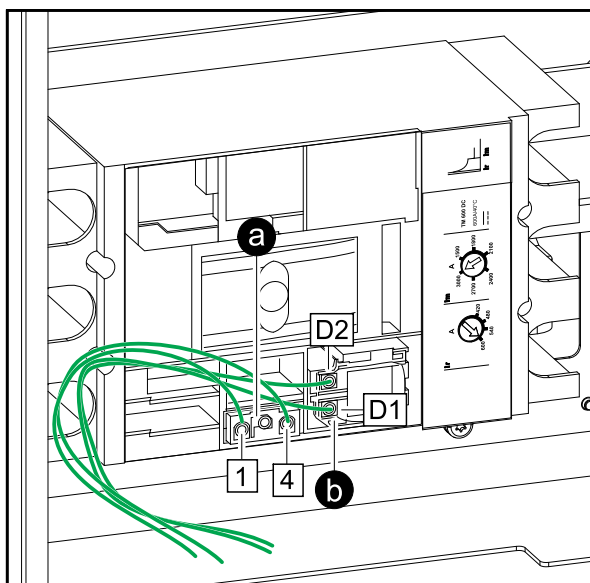
3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

バッテリーブレーカーの前面図

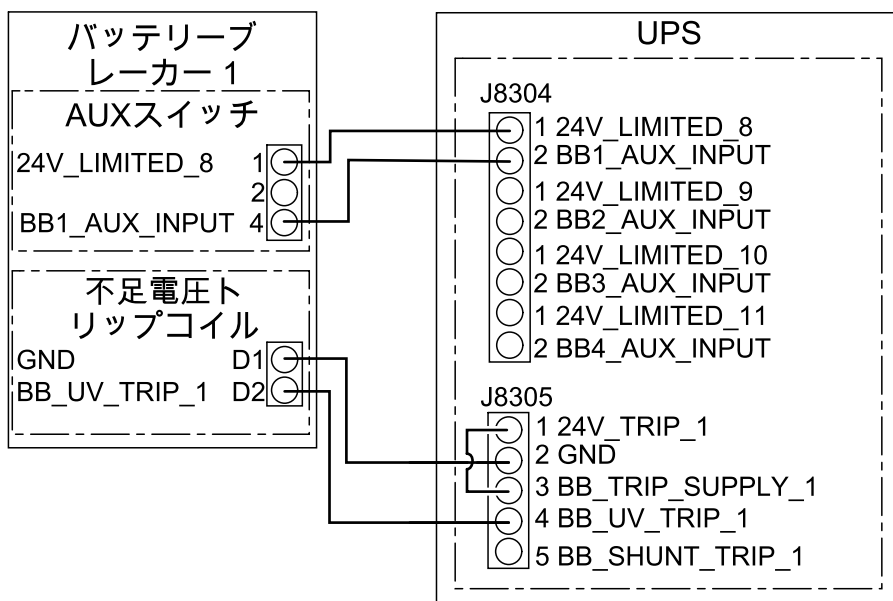


4. 信号線を、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通して、バッテリーブレーカーに配線します。
5. 信号線を接続します。
 - a. 信号線をAUXスイッチ (1,4) に接続します。
 - b. 信号線を不足電圧トリップコイルに接続します。

バッテリーブレーカーの前面図



6. UPSで信号線を以下のように接続します。



7. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。

信号線のGalaxy VXL UPSへの接続

注記： 信号線は、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルはnon-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

推奨される信号線のサイズ	UPSまでの最大距離
0.5 mm ²	50 m
0.75 mm ²	100 m
1.0 mm ²	200 m

1. バッテリー温度センサー (0M-1160) をバッテリーキャビネットに取り付けます。2つの温度センサーはUPSに付属しています。

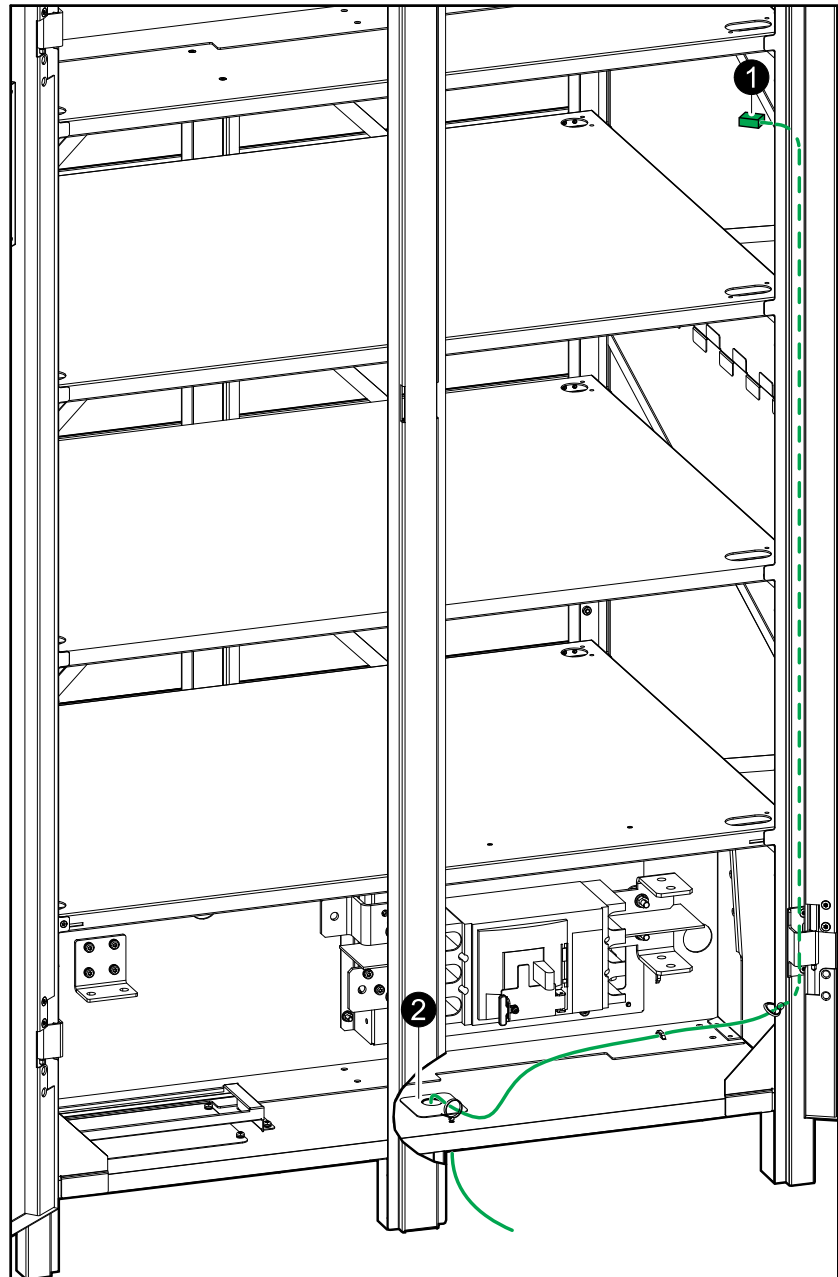
 **警告**

火災の危険性

バッテリーキャビネットに記載されている説明に従って、温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

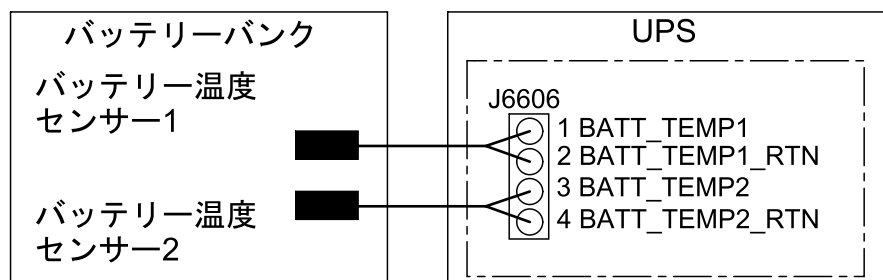
上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

空のバッテリーキャビネットの前面図



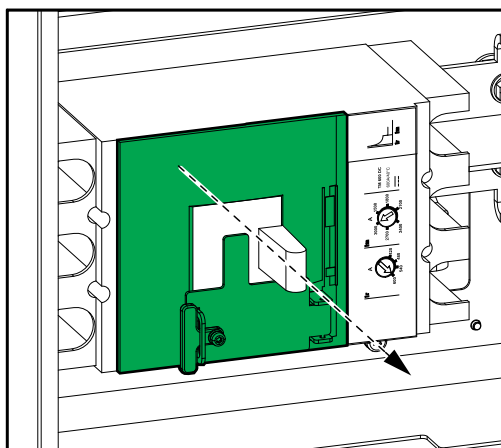
2. バッテリー温度センサーのケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記： 温度センサーのケーブルは、Class 2/SELVとして認識されます。Class 2/SELV回路は、主回路から絶縁する必要があります。



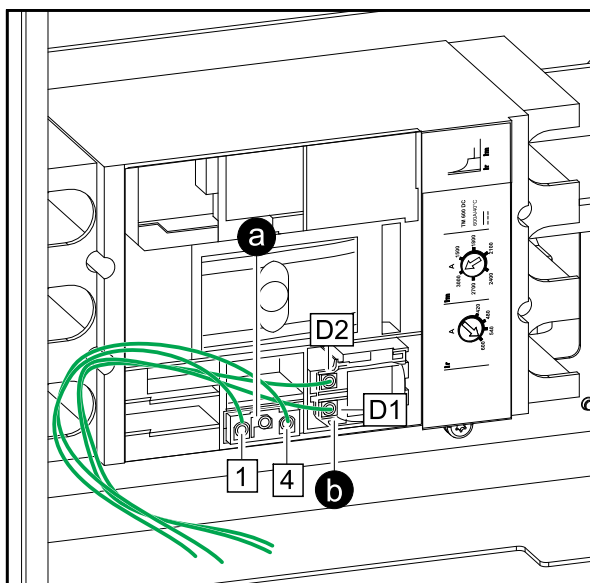
3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

バッテリーブレーカーの前面図



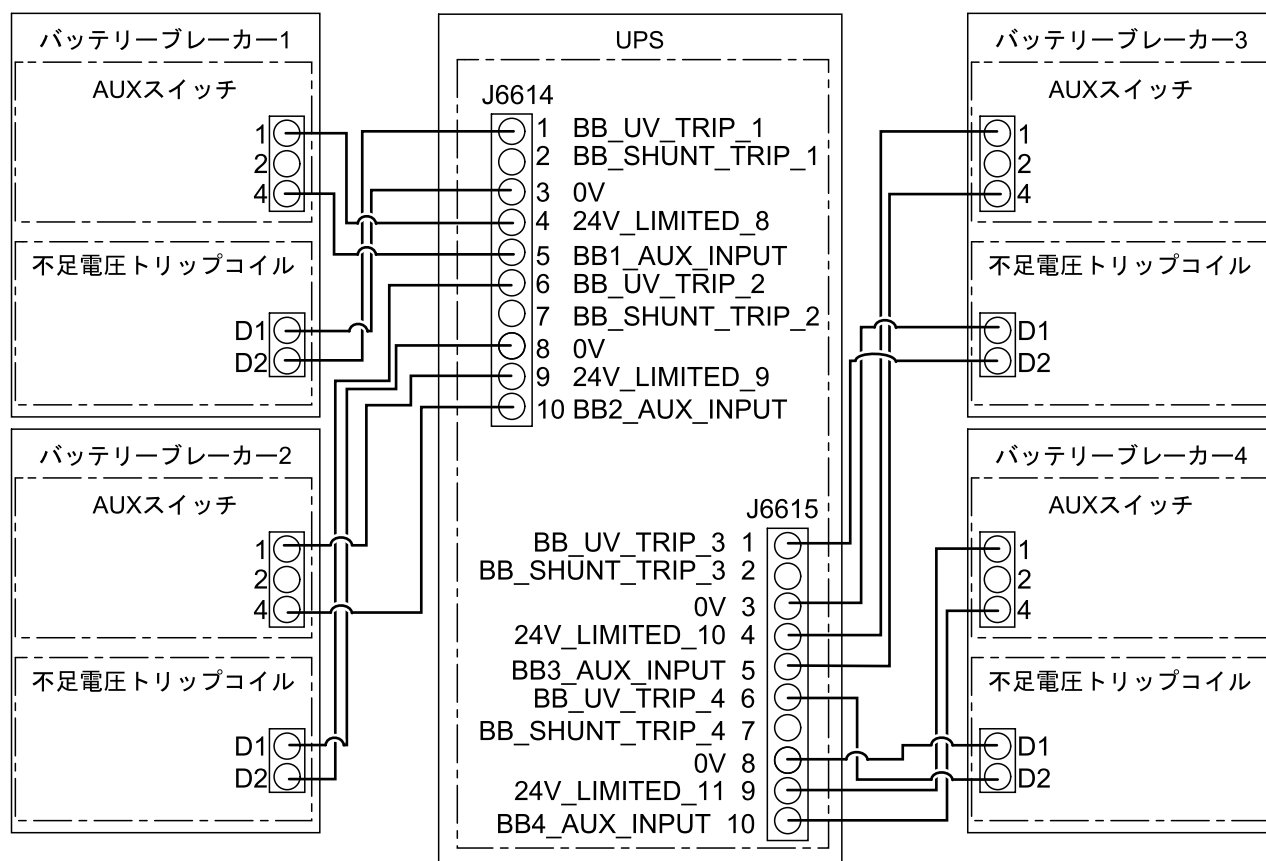
4. 信号線を、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通して、バッテリーブレーカーに配線します。
5. 信号線を接続します。
 - a. 信号線をAUXスイッチ (1,4) に接続します。
 - b. 信号線を不足電圧トリップコイルに接続します。

バッテリーブレーカーの前面図

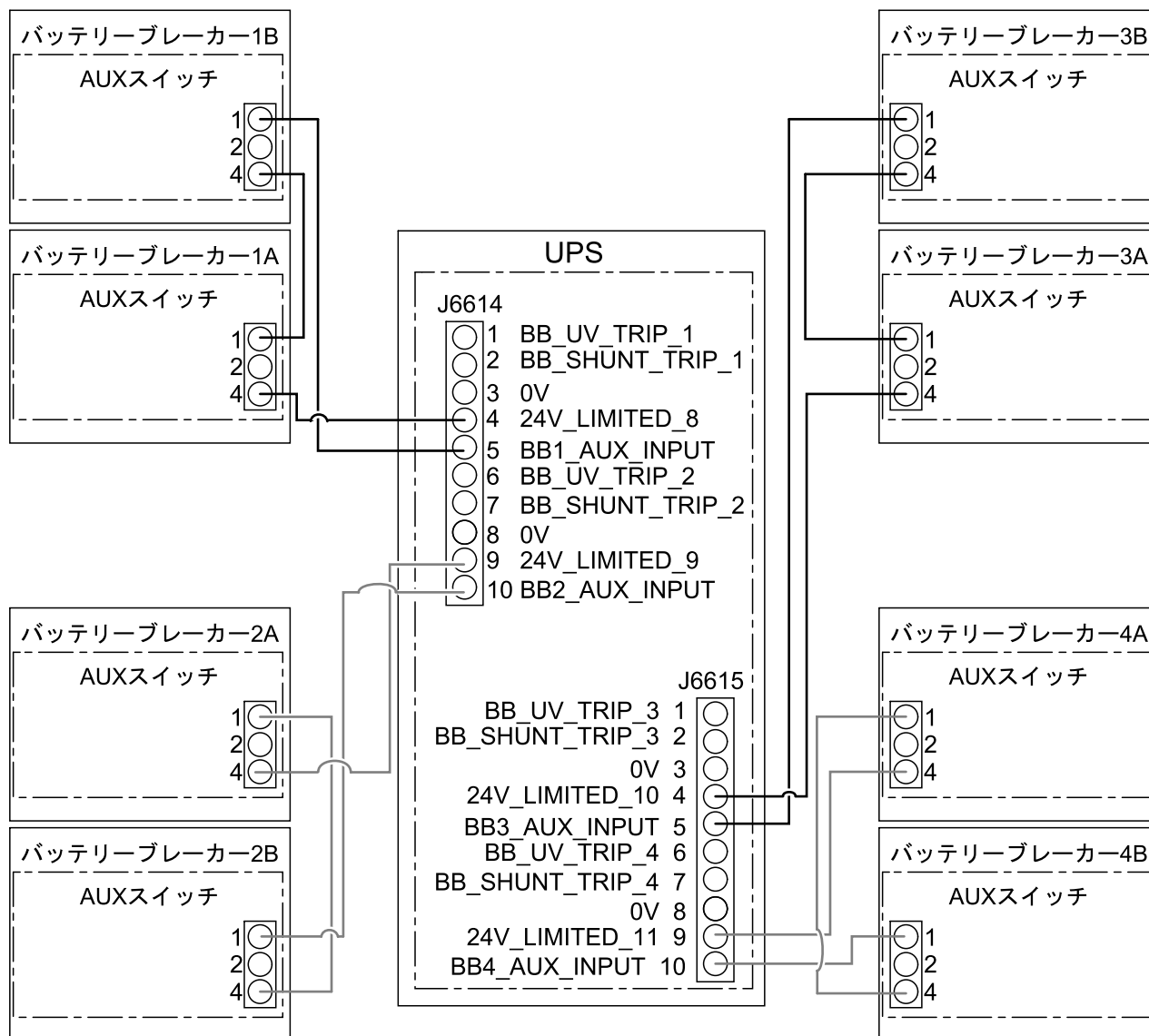


6. UPSで信号線を以下のように接続します。

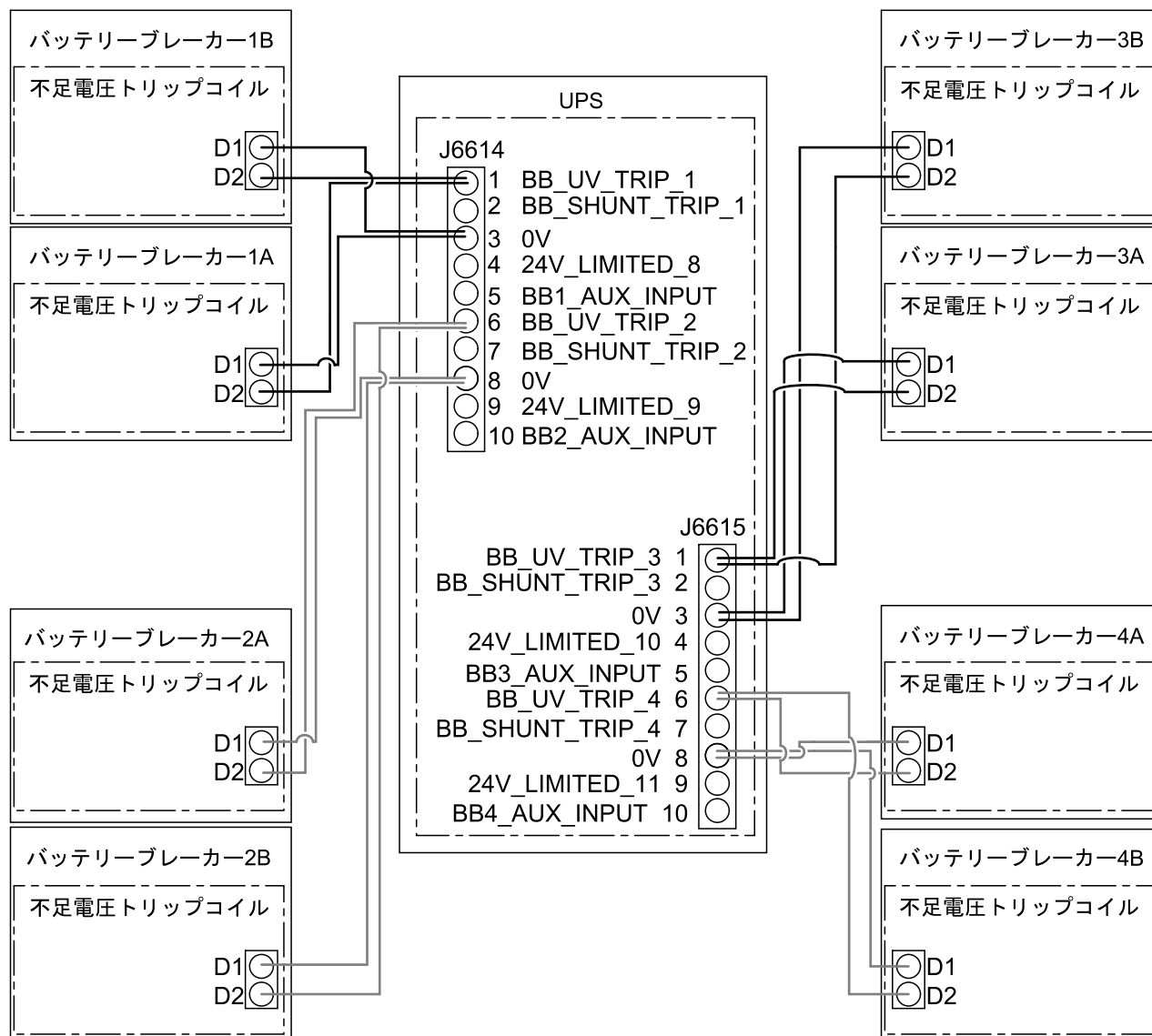
AUXスイッチと不足電圧トリップコイルの接続 (1～4個のバッテリーブレーカーで構成する場合)



AUXスイッチの接続 (5 ~ 8個のバッテリーブレーカーで構成する場合)



不足電圧トリップコイルの接続 (5 ~ 8個のバッテリーブレイカーで構成する場合)



7. バッテリーブレイカーにカバーを再度取り付けます。

信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続

注記： 信号ケーブルは、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルは non-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

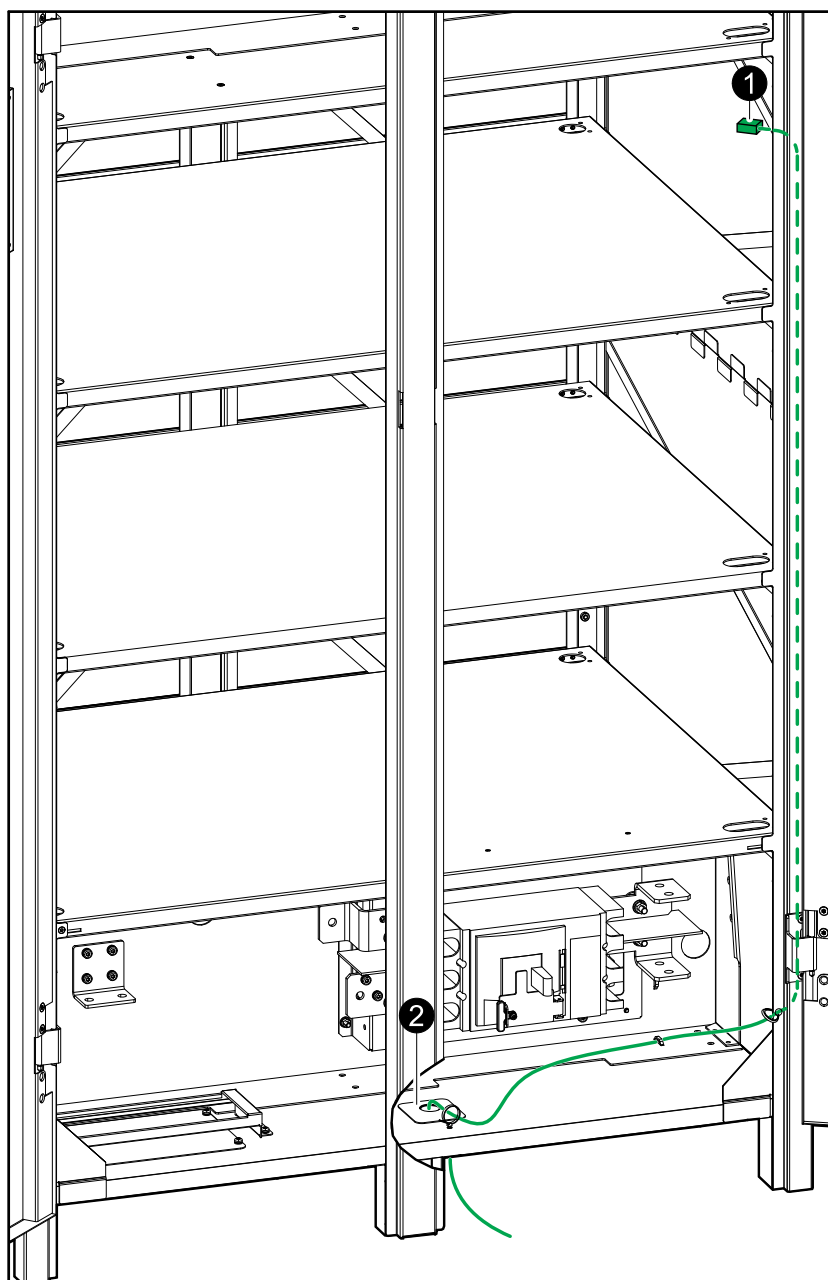
推奨される信号ケーブルサイズ	UPSまでの最大距離
0.5 mm ²	50 m
0.75 mm ²	100 m
1.0 mm ²	200 m

1. バッテリー温度センサーを取り付けます (付属していません)。

注記： 温度センサー (SP3OPT006) はオプションキットとして利用できます。

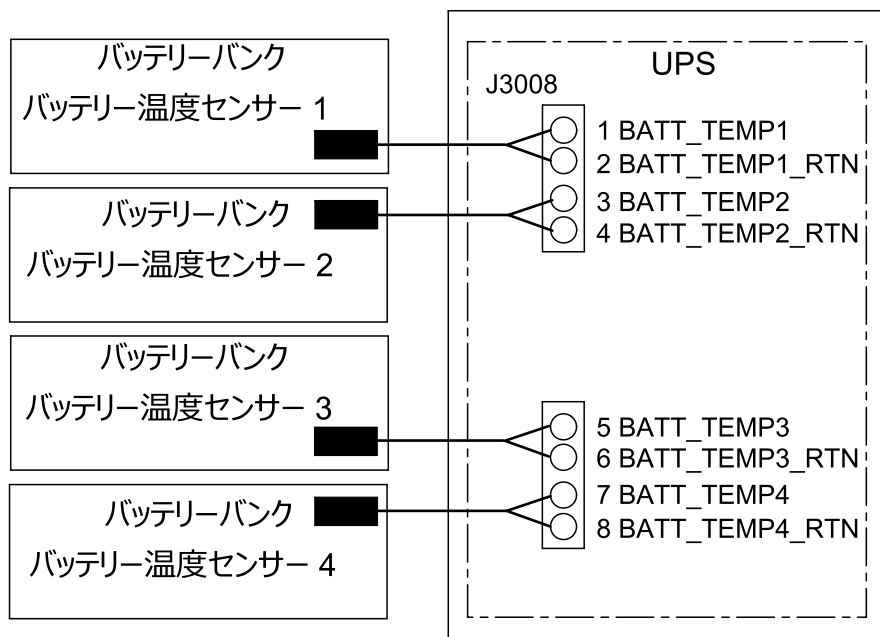
⚠ 警告
火災の危険 説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。 上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

空のバッテリーキャビネットの前面図



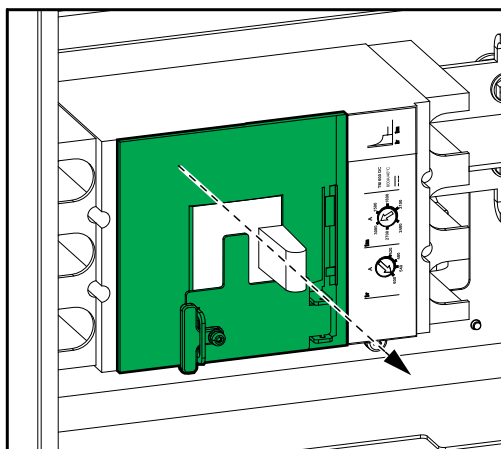
2. バッテリー温度センサーのケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記： 温度センサーのケーブルは、Class 2/SELVとして認識されます。Class 2/SELV回路は、主回路から絶縁する必要があります。



3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

バッテリーブレーカーの前面図

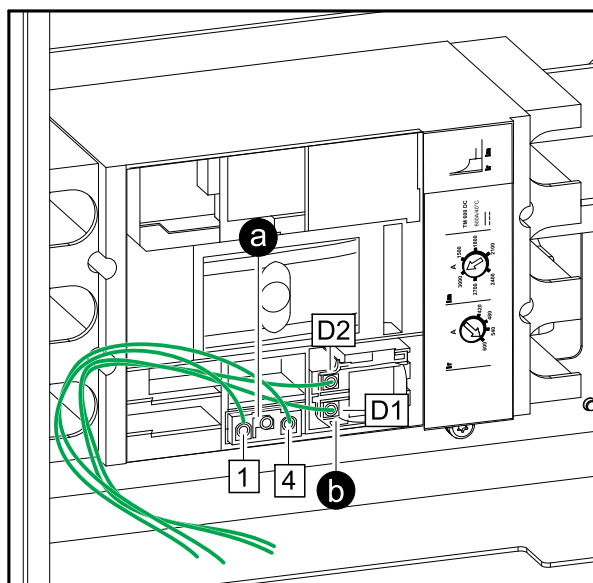


4. 信号ケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通して、バッテリーブレーカーに配線します。

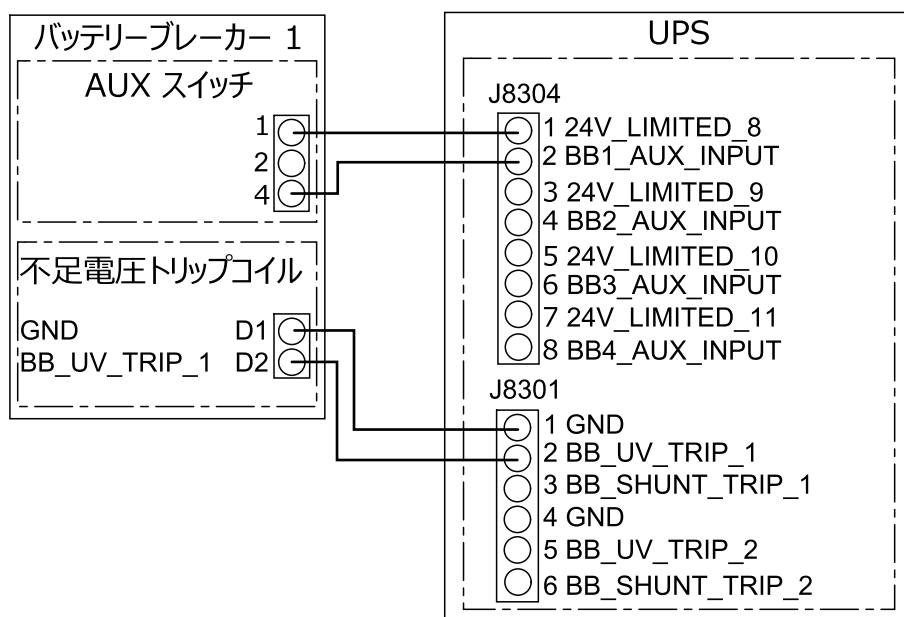
5. 信号ケーブルを接続します。

- a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
- b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。

バッテリーブレーカーの前面図



6. UPSで信号ケーブルを以下のように接続します。



7. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。

信号線のEasy UPS 3M Advancedへの接続

注記： 信号線は、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルはnon-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

推奨される信号線のサイズ	UPSまでの最大距離
0.5 mm ²	50 m
0.75 mm ²	100 m
1.0 mm ²	200 m

1. バッテリー温度センサーを取り付けます (付属していません) 。

注記： 温度センサー (SP3OPT006) はオプションキットとして利用できます。

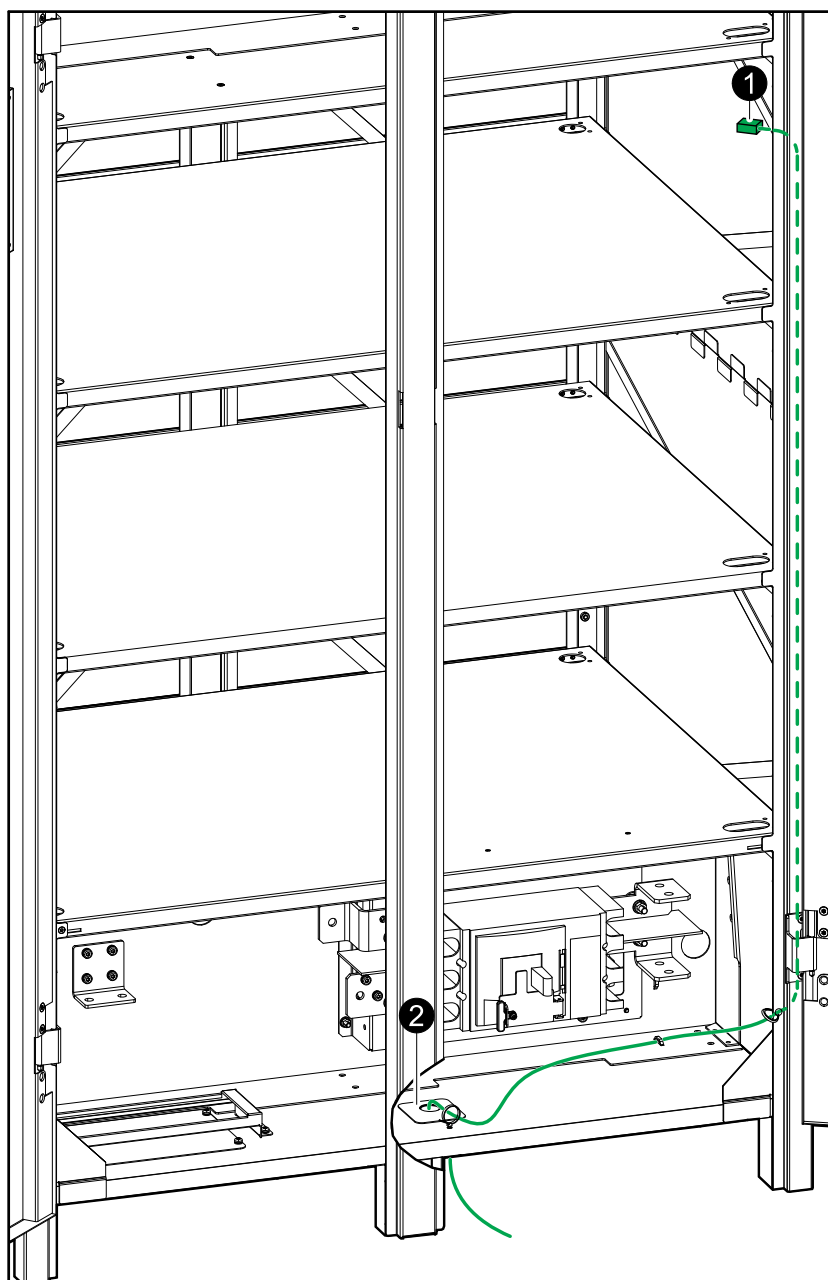
▲ 警告

火災の危険性

説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

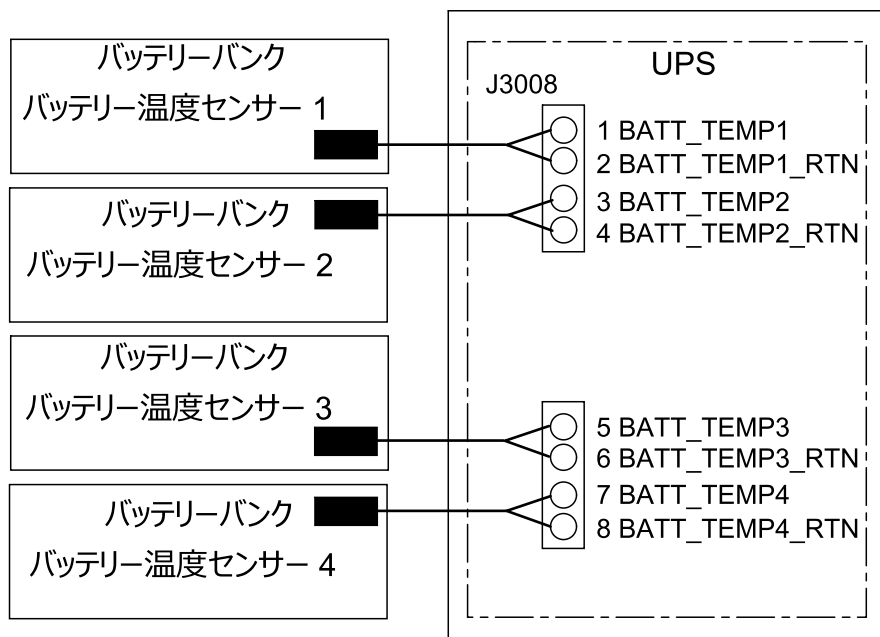
上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

空のバッテリーキャビネットの前面図



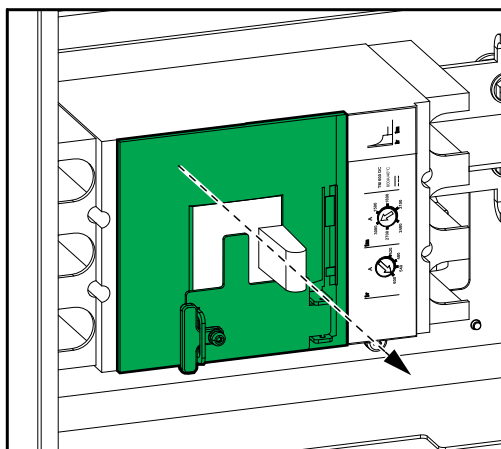
2. バッテリー温度センサーのケーブルを、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記： 温度センサーのケーブルは、Class 2/SELVとして認識されます。Class 2/SELV回路は、主回路から絶縁する必要があります。



3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。

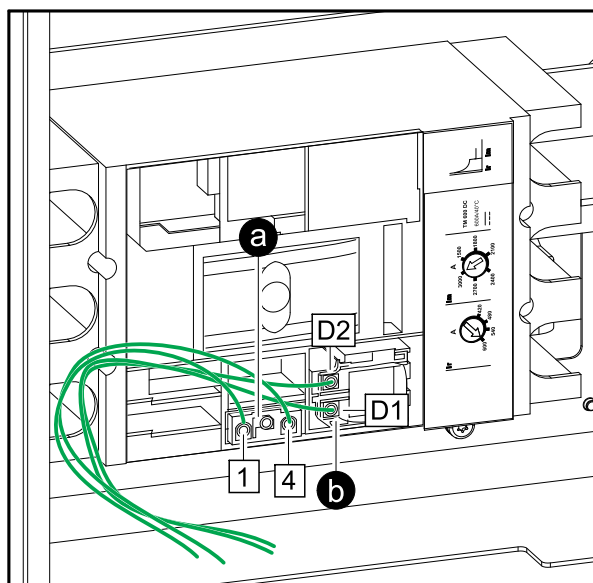
バッテリーブレーカーの前面図



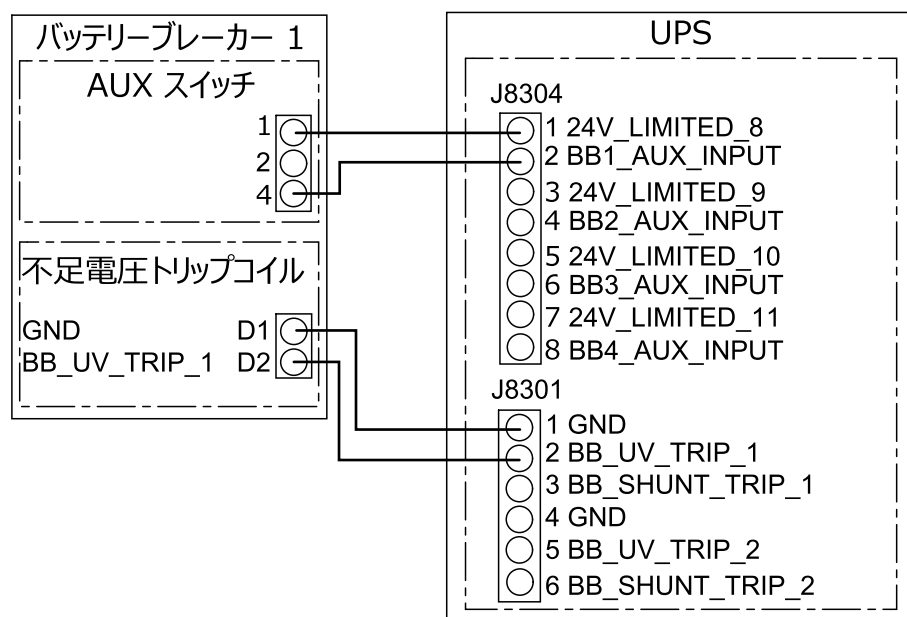
4. 信号線を、空のバッテリーキャビネットの上部または下部を通して、バッテリーブレーカーに配線します。

5. 信号線を接続します。
 - a. 信号線をAUXスイッチに接続します。
 - b. 信号線を不足電圧トリップコイルに接続します。

バッテリーブレーカーの前面図



6. UPSで信号線を以下のように接続します。



7. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。

下部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続

⚠ ⚠ 危険

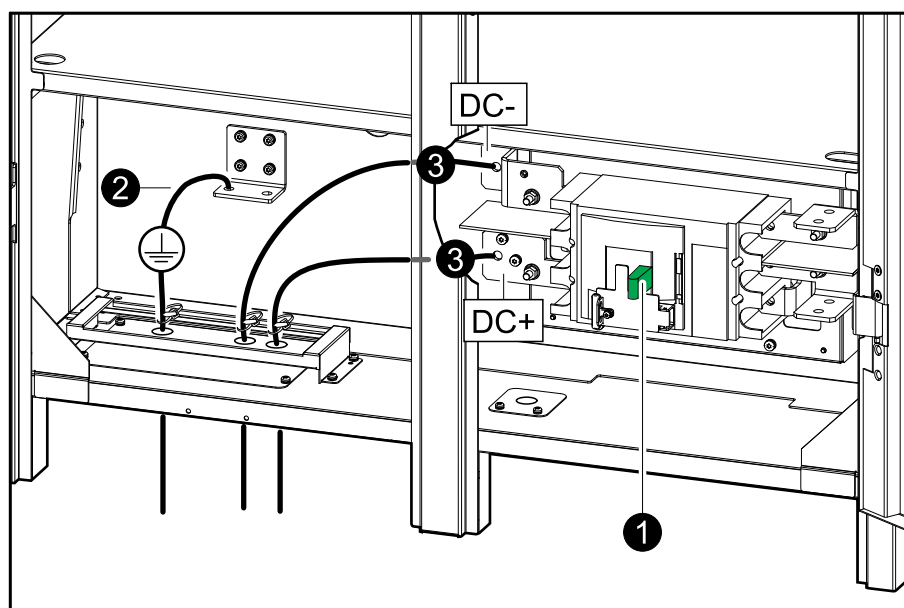
感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーブレーカーにバッテリーケーブルを接続する前に、UPSシステムのすべての電源を停止してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. ブレーカーをOFFの位置にロックアウト / タグアウトします。

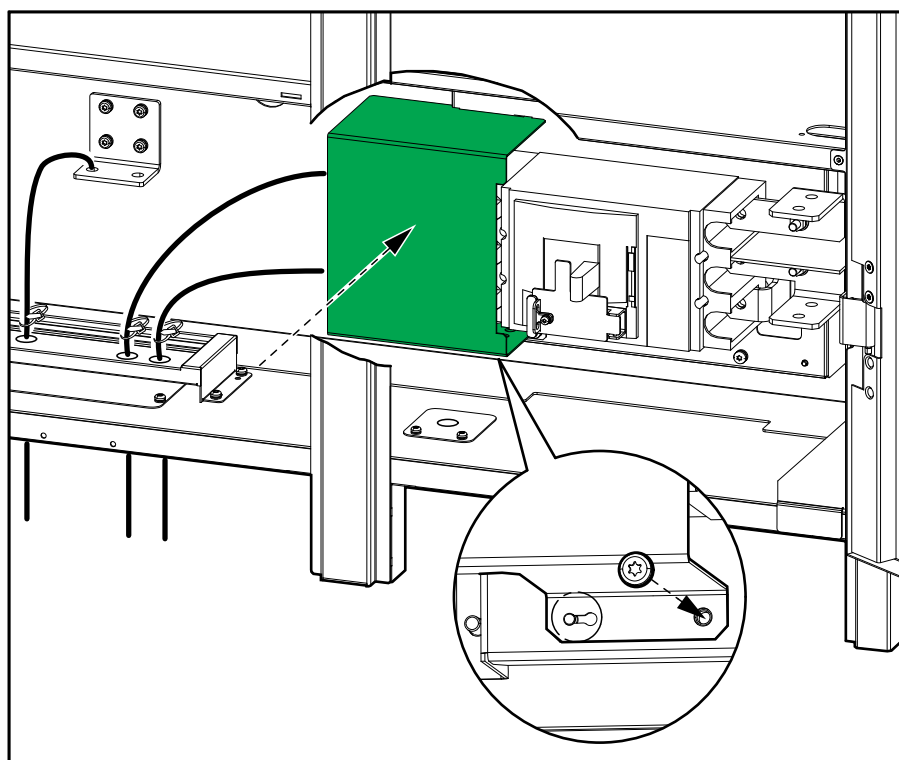
空のバッテリーキャビネットの前面図



2. PEケーブルを接続します。
3. UPSのDCケーブル (DC+、DC-) を接続します。

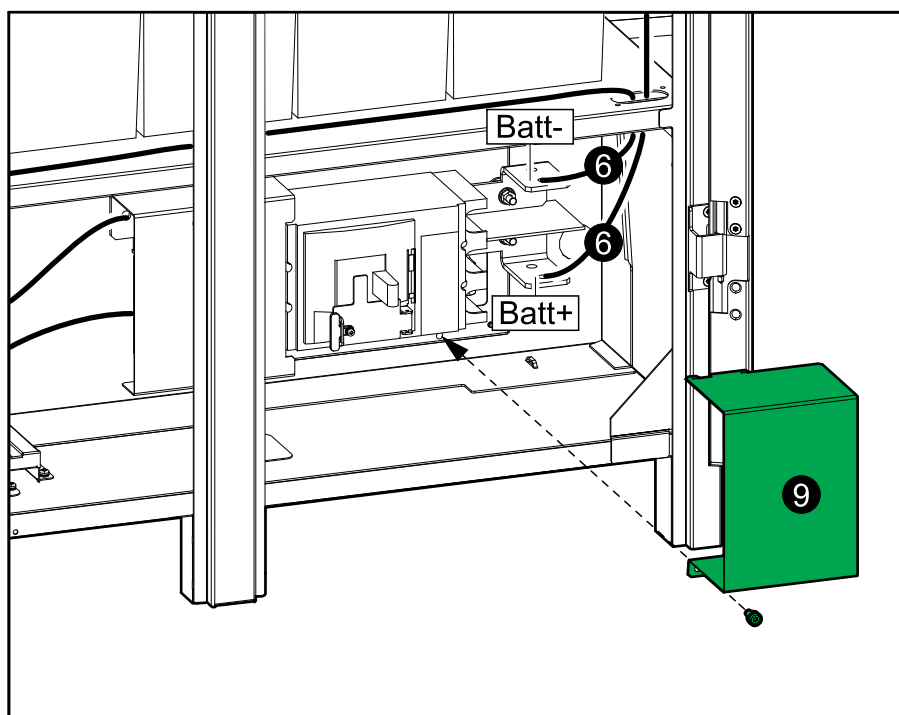
4. バッテリーブレーカーの左側に、端子を保護するためのカバーを取り付けます。

空のバッテリーキャビネットの前面図



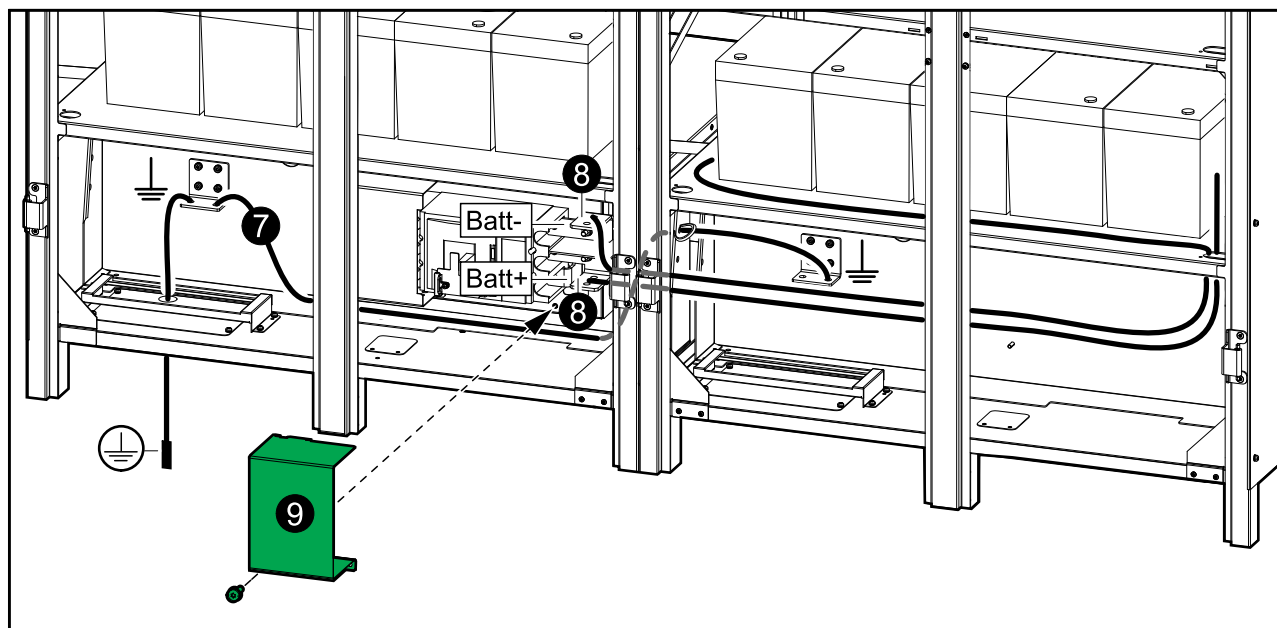
5. 空のバッテリーキャビネットに付属している設置マニュアルの説明に従い、バッテリーを取り付けます。
6. 空のバッテリーキャビネット1のバッテリーのバッテリーケーブル (Batt+、Batt-) を、バッテリーブレーカーに接続します。

空のバッテリーキャビネットの前面図



7. 2台の空のバッテリーキャビネットを使用して設置を行う場合のみ：空のバッテリーキャビネット1の接地ケーブルを、空のバッテリーキャビネット2に接続します。

空のバッテリーキャビネット1と2の前面図



8. 2台の空のバッテリーキャビネットを使用して設置を行う場合のみ：空のバッテリーキャビネット2のバッテリーのバッテリーケーブル(Batt+, Batt-)を、バッテリーブレイカーに接続します。
9. バッテリーブレイカーの右側に、端子を保護するためのカバーを取り付けます。

上部ケーブル入線システムにおける電源ケーブルの接続

⚡⚡ 危険

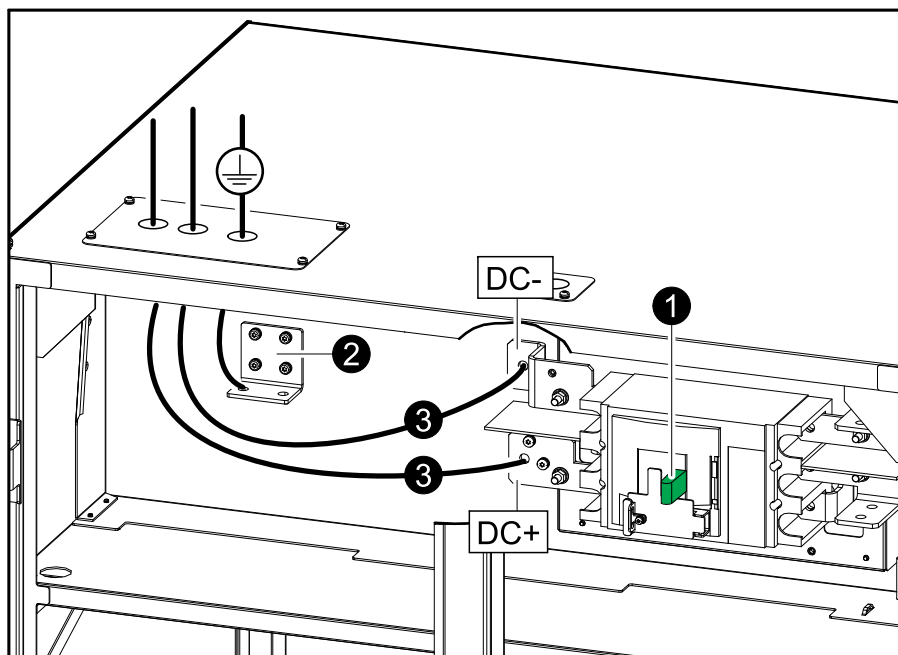
感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーブレーカーにバッテリーケーブルを接続する前に、UPSシステムのすべての電源を停止してください。

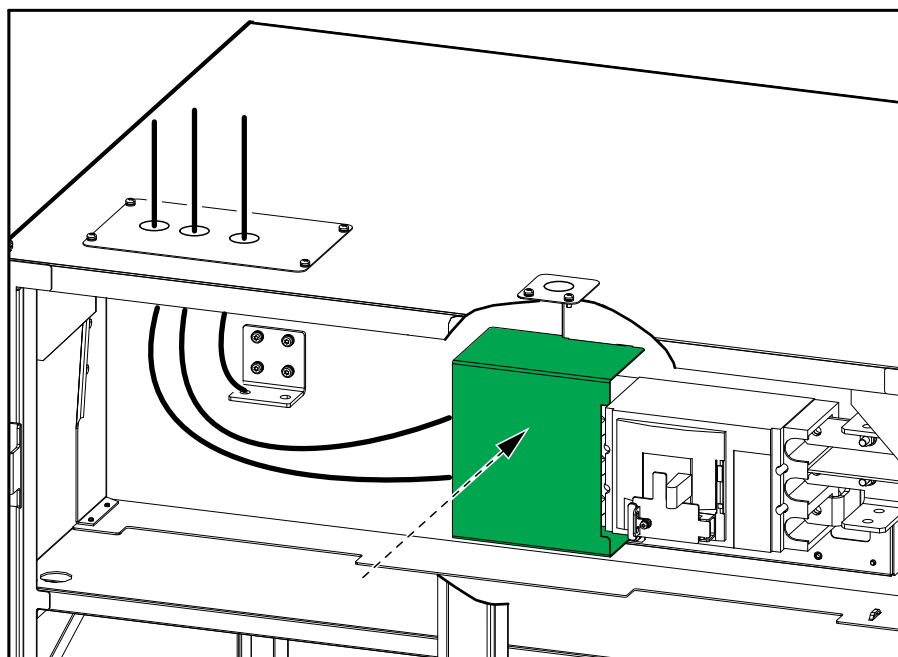
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. ブレーカーをOFFの位置にロックアウト / タグアウトします。

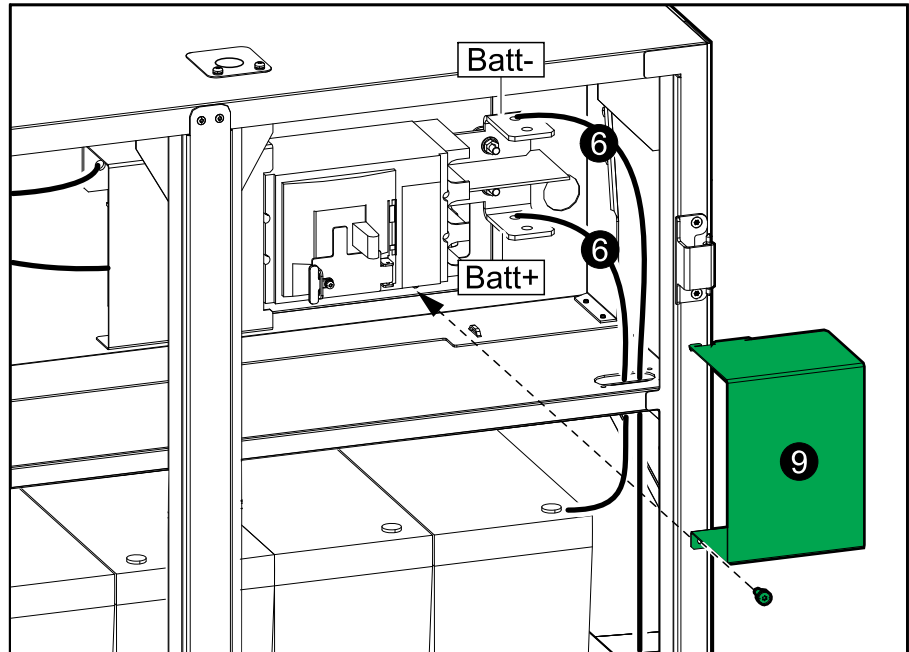
空のバッテリーキャビネットの前面図



2. PEケーブルを接続します。
3. UPSのDCケーブル (DC+、DC-) を接続します。
4. バッテリーブレーカーの左側に、端子を保護するためのカバーを取り付けます。

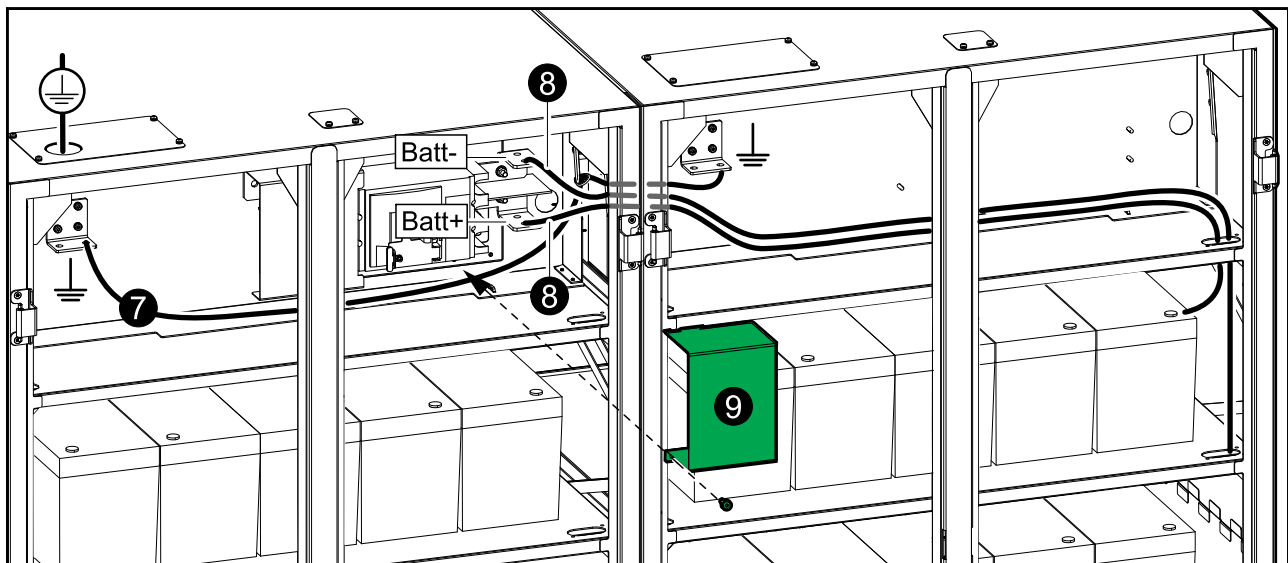


5. 空のバッテリーキャビネットに付属している設置マニュアルの説明に従い、バッテリーを取り付けます。
6. 空のバッテリーキャビネット1のバッテリーのバッテリーケーブル(Batt+、Batt-)を、バッテリーブレーカーに接続します。



7. **2台の空のバッテリーキャビネットを使用して設置を行う場合のみ**：空のバッテリーキャビネット1の接地ケーブルを、空のバッテリーキャビネット2に接続します。

空のバッテリーキャビネット1と2の前面図



8. **2台の空のバッテリーキャビネットを使用して設置を行う場合のみ**：空のバッテリーキャビネット2のバッテリーのバッテリーケーブル(Batt+、Batt-)を、バッテリーブレーカーに接続します。

注記：バッテリーの情報が記載された配線図は、現場に保管しておいてください。

9. バッテリーブレーカーの右側に、端子を保護するためのカバーを取り付けます。

Schneider Electric
35 rue Joseph Monier
92500 Rueil Malmaison
France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください

© 2020 – 2024 Schneider Electric. 著作権保有

990-91378D-018